

山県田辺町誌』は『田辺町誌』とした。なお、全国紙の新聞記事を引用する場合は、当該期の地方版については地方版の名称を省略し、本社版についてのみその旨を記した。

一、地名については、田辺市域を除き、必要に応じて（ ）内に現在の市町村名を示した。

一、本文中の写真・図版・表は、それぞれ各章ごとに、写真1・図1・表1のように一連番号を付けた。また、巻末に「写真・図・表目録」を掲げた。

一、本巻の叙述において、多くの研究成果を援用したが、本書の性格上、著者名・文献名の注記は最小限にとどめ、参考文献を巻末の「参考文献目録」に一括して掲げた。

一、本巻の執筆分担は巻末に掲げた。

田辺市史 第三巻 通史編Ⅲ（近現代）

目次

凡例

序章

田辺の近代の始まり／田辺市域の発展／農業と商工業発展の併進／地域文化の盛況／民衆運動の展開／本巻の編成

第一章 近代社会の形成

第一節 地方行財政の確立と政治活動

田辺県の設置と廃止／大区小区の設置／郡区町村制の施行／初期の町村財政／地租改正の実施／民権的潮流の高まり／田辺の景況／松方デフレ下の村々

第二節 伝統産業の推移と近代産業の芽ばえ

1 田辺地方の産物と移出入品

田辺地方の産物と移出品／田辺地方の移入品

2 農業の推移と地主制の展開 一四七

農林業の展開と地主の成長／松方デフレ政策と地主制

3 蚕糸業の展開 一五〇

養蚕業／製糸業

第三節 文明開化と生活・文化・教育 一五三

1 学制頒布と小学校開設 一五七

文武場の廃止と修道館の設立／田辺小学校の開設／和歌山師範学校田辺分校

2 私立学校の開設 一六〇

有終夜学校の開設／田辺英学校／書道私塾／珠算塾の設置

3 近代文化の芽ばえ 一六四

近代の和歌／明治前期の俳壇／牟婁地方の啓蒙と新聞・雑誌／啓発と民権の『幼年雑誌』／青年会の結成／キリスト教の伝播

第四節 明治二十二年大水害とその影響 一六八

水害の規模／大水害前の気象／大洪水の状況／水害の結果と影響／災害後の復旧と地域変貌／河川改修と堤防

第二章 近代社会の展開 一七三

第一節 市制町村制の実施と田辺地方 一七四

市制町村制の制定／新町村の成立／人口の推移とその構成／三栖村の誕生と水害／水害義捐金事件／町村の行財政／田辺町の行財政／田辺町政の混乱

第二節 諸産業の変遷と銀行業 一七九

1 第一次産業の展開 一八〇

農業／養蚕業／木炭業／明治期の漁業／漁業組合の設立とその活動／漁船動力化の動き／勝浦沖サンマ漁船遭難

2 近代産業の展開 一八五

製糸業／織物業／貝鉦業／電灯会社

3 企業勃興と金融 一八七

田辺実業組合の設立と活動／田辺市域の企業勃興／鉄道・紡績会社などの企て／近代的金融機関と在来金融

第三節 教育制度の整備と文化の諸相 一九一

1 学校教育の展開 一九二

田辺中学校の創設／女子教育の展開／スポーツ・武術／教員養成所

2 社会教育の萌芽 一九七

田辺図書館の創設／紀伊教育会西牟婁郡支会と巡回文庫／実業補習学校の設置／
私立国民学校と通俗講演会

3 近代文化の諸相 一八八

競い立つ地方新聞／正風俳諧から新しい俳句へ／工芸／娯楽場

第四節 『牟婁新報』の周辺 二〇二

1 『牟婁新報』の立場 二〇二

社会主義への関心／社会主義者の入社／労働問題への関心

2 非戦論の展開 二〇九

露西亜伐つべし／非戦論の展開

3 苦難の『牟婁新報』 二一五

官吏侮辱罪／再度の官吏侮辱罪／荒畑・管野の入社／公娼廃止の筆ぼう

4 大逆事件と田辺 二二三

家宅捜査賛成論／受難の人と免れた人と

第五節 熊楠と柴庵 二二六

南方熊楠の田辺来住／神社合祀の推進／合祀の実態／台場公園売却問題と神社合
祀反対／神社合祀の嵐／中村啓次郎の帝国議会質問／神島の保全／和歌山県下の
合祀の実情／神社合祀令廃止へ

第三章 近代社会から現代へ 二四七

第一節 田辺町政の展開 二四八

町村制の改正／地方改良運動と部落有林野の統一／都市化と田辺地方／町村の行
財政／田辺町の行財政／衛生事業の拡張／公設市場の設置／新田辺町の誕生

第二節 第一次世界大戦と産業経済の動き 二七一

1 農林業の展開と地主制 二七一

農業／林業／木炭業／養蚕業／地主の発展／地主の株式投資

2 漁業の新しい動き 二六三

漁業の動向／漁船の動力化／養殖漁業・遠洋漁業の普及

3 工業の展開 二九一

製糸業／紡績・織物業／貝鉦業

4 金融業の展開 二九七

田辺銀行の発展／産業組合の発展／新しい金融機関の出現

第三節 広がる社会運動 三〇五

1 大正期の女性運動 三〇五

手作りの高級うちわ／手押し車の魚売り／「およどん」と呼ばれながら／「いっち

細かい」ボタンつけ	
2 米騒動と田辺	三二
3 労働運動の台頭	三〇
労働者意識の成長／田辺町役場吏員の罷業／白浜自動車争議／三栖村自作小作組合／進展する労働運動	

第四節 大正デモクラシー下の生活と文化

1 大正期の学校の動向	三三
紀南盲啞学校／田辺実業学校の設立と発展／田辺高等家政女学校の設立／大典と学校	
2 青年団の発足と青年教育	三六
青年会の誕生／官制の青年会結成／西牟婁郡青年会の結成／田辺町内青年会の動き／青年訓練所／実業補習学校の展開と終息	
3 市民文化の諸相	三五〇
公立図書館への胎動／『熊野太陽』創刊と新聞界の事情	
4 田辺の文学と絵画	三三七
那須辰造の足跡／大正期の田辺俳壇／競合する俳誌／宇井可道と良璞社／詩壇／絵画	

第五節 沿岸航路と鉄道

1 交通・沿岸航路の発展	三六八
帆船の商港・江川川べり／紀州航路の発展と汽船の競争／大阪商船の時代／文里港への移転／紀州航路の終焉	
2 紀勢線の開通と田辺	三七五
陸の孤島から鉄道の時代表へ／悲願の鉄道敷設へ／紀勢線・田辺駅開業	
3 自動車の時代	三六三
徒歩と人力車の時代／自動車の登場と自動車会社の合併／荷車道から自動車道へ／第二次世界大戦下の交通事情	
4 紀南索道株式会社と輸送	三六九
索道建設の背景／索道の架設／商圏に与えた影響／紀南索道の経営	

第四章 戦時下の田辺

第一節 田辺市の誕生	三六八
普通選挙と自治権の拡張／田辺町の行財政／都市基盤の拡充／町会議員選挙と専任議長設置／『紀伊新報』の町政批判／村々の行財政／町村合併の動き／田辺市の誕生／戦時下の市政	

第二節 田辺の諸産業と経済統制

四七

恐慌下の田辺経済／農業の不振と打開策／戦時下の農林業／漁業不振と振興策／
江川浦の漁業と生活／金融機関の再編／戦時経済統制の展開

第三節 昭和恐慌下の田辺地域

四五

- 1 恐慌で明けた昭和
- 2 暗い正月／失業者の群れ／金融不正事件の続発

2 進展する社会運動

四五

南紀州無産青年聯盟の結成／借家人組合の活動／鱒焚入網問題／全熊野労働組合
協議会／田辺貝卸争議／赤色教員事件／全協事件と人民戦線事件

3 非常時と民衆の生活

四七〇

青い目の人形／満州事変と田辺／防空演習／室戸台風の爪あと

第四節 皇民教育の推進

四八〇

1 戦時下の国民学校

四八〇

手本は二宮金次郎／奉安殿の建設／皇国民錬成／運動場が甘藷畑に／本土決戦に
備えて

2 戦時下の中等学校

四八八

戦時色を深める中等学校／女子教育の発展／大がかりな国防訓練

3 戦時下の皇民統制

四九三

青年学校の創設と展開／壮年団の結成／翼賛壮年団の活動／戦時下の新聞統制／
弁慶の顕彰／昭和前期の俳壇

第五節 戦時下の市民生活

五〇九

1 日中戦争と田辺

五〇九

日中戦争の開始／時局に対する民衆の認識／国民精神総動員／大政翼賛運動／産
業（商業）報国会／隣組と常会

2 窮乏化する市民生活

五三二

物資の欠乏／不足する食糧／人的資源

3 戦火の中の生活

五三八

流言飛語・信仰心の取締り／学徒動員／激化する空襲／田辺祭の日に／疎開／本
土決戦／敗戦

第六節 田辺海兵団の設置とその波紋

五四九

海兵団設置前の神子浜／海兵団とその面積／海兵団の建設／海兵団の役割と訓練
の様子／海外特別志願兵の多い田辺海兵団／海兵団の変貌

第五章 戦後改革と復興

第一節 敗戦直後の混乱

- 1 敗戦直後 五六一
 - 虚脱と混乱と／復員／伝染病のまん延／田辺海兵団の戦後処理 五六一
 - 2 窮乏化した生活 五七二
 - 飢餓とヤミ／求められた供出／インフレの進行／不足する住宅 五七二
 - 3 戦争責任の追及 五八〇
 - 学園民主化を求めて／公職追放 五八〇
 - 4 『昭和の津浪』 五八六
 - 北海道地震／『昭和の津浪』 五八六
 - 5 引揚港田辺 五八九
 - 海外引揚業務の開始／田辺引揚援護局の開局／引揚船の入港／引揚業務の実状／引揚げの概況／台湾からの引揚げ／「非日本人」の引揚げ 五八九
- ### 第二節 市政の民主化の展開
- 市長選挙・市議会議員選挙／占領下の市政と三か村合併／市政の新しい展開／町村合併促進法と新庄村合併／西富田村の合併／西富田分離とリコール運動／市政の推移 六〇三

第三節 産業経済の復興

- 1 近代化する農業 六〇七
- 戦後の経済的混乱／農業の復興と変貌／田辺の農地改革と農業協同組合／変わりゆく農産物 六〇七
- 2 変貌遂げる漁業 六三五
- 近代化する漁業組織と漁港／災害を克服した漁港と港湾整備／漁法と漁期 六三五
- 3 地場産業の形成と商業の発展 六四〇
- 災害と地域復興／製材業の再興と発展／ボタン産業／商業の発展／田辺市の公共投資 六四〇

第四節 新教育制度の発足と文化

- 1 新制中学校の誕生 六四九
- 「御真影」のその後／教育制度の改革／市内の中学校を二校に／田辺高等女学校校舎の払下げ／難航した組合立中学校／旧中等学校からの生徒還元措置 六四九
- 2 新制高等学校の発足 六五二
- 田辺市の高校は四校を望む／田辺市の高校は一校に／男女共学の波紋／教育の機会均等と定通制教育 六五二
- 3 教育環境の変化と戦後文化 六五九
- 教育委員会の発足とあゆみ／育友会(P.T.A.)の発足と活動／公民館の設立と社会 六五九

教育／図書館の充実／青年団の再出発／映画館の盛況／戦後俳壇の動き
 第五節 社会運動の展開 六八五

1 高揚する民主化 六八五

女性の進出／労働運動の再建／戦後のメーデー 六八五

2 労働運動の進展 六九一

十月闘争から全官公庁共闘へ／二・一ストライキ／片山内閣の成立 六九一

3 朝鮮戦争前後 六九七

三月闘争／田辺税務署問題／定員法／全通の場合／西牟婁地評の結成／失業対策の実施 六九七

4 大衆運動の進展 七〇八

原水爆禁止運動／保育所要求運動／「小児麻ひをなくせ」／母親大会 七〇八

第六章 高度成長下の田辺市域 七二七

第一節 新しい田辺市の成立と市政の動き 七二七

野見市政の展開／市議会の動向／牟婁町の合併／高度成長下の行政／市機構の改革と市庁舎新築／田辺市総合計画構想／田辺都市周辺町村振興計画／田辺市財政の膨張／市民憲章・名誉市民表彰

第二節 産業と経済の推移 七四七

1 変わりゆく田辺の工業 七四七

(1) 高度経済成長期の変貌 七四七

産業構造の変化と工業／外材輸入に踏み切った製材工業／貝釘から化学ボタンへ

(2) 低成長下の工業 七五九

オイルショックと地域経済／円高と地場産業／梅加工産業の発展

2 商業の変化 七六四

高度経済成長と商業／大型スーパーの進出／転機に立つ商業

3 農林水産業の発展 七七一

農業の変貌／みかん栽培の隆盛／梅栽培への転換／変わりゆく漁業

4 都市化と交通の発達 七八三

ドーナツ化の進展／鉄道輸送の変化／田辺のモータリゼーション／バス路線の今昔

第三節 郷土研究と地域文化の興隆 七九一

1 郷土研究 七九一

戦後の動向／『田辺市誌』と雑賀貞次郎／田辺市文化財調査会／『万代記』の解説／遺跡の調査活動／紀南文化財研究会の活動／『田辺市誌』(二)の刊行

2	地域文化の進展	八〇三
	市立図書館の落成／文芸活動／美術・音楽／田辺市文化賞の制定	
3	南方熊楠の顕彰と記念事業	八〇九
	戦時下の遺稿整理／ミナカタ・ソサエティの設立／市民啓蒙の動き／南方記念館建設の動き／記念館から精神道場へ／静かなる熊楠ブーム／南方熊楠邸保存顕彰会の発足	

第四節 高度成長と市民生活の変貌……………八二三

1	市民生活の向上	八二三
	家庭電化の進展／マイカー時代の到来／農業の衰退／核家族化と団地の形成／「中流意識」のひろがり／主婦の職場進出	
2	労働運動の推移	八三四
	勤評闘争前後／警職法から安保へ／西牟婁地評の分裂／諸闘争の展開	
3	公害の発生と住民運動	八四六
	公害の発生／住民運動の進展	
4	戦後の地方新聞事情	八五一
	敗戦直後の田辺の地方新聞／地方新聞全盛／地方新聞の衰退	

第五節 戦後教育の展開……………八五九

1	学校教育の新しい展開	八五九
	マンモス校の解消と小学校の新設／ベビーブームと高校の増設／田辺高等学校の移転問題／奨学会の充実／合唱の街田辺／映画とテレビと学校教育／健康づくりの取り組み／いのちの大切さを教える	
2	社会教育の充実	八七五
	中央公民館と地域公民館／婦人学級のあゆみ／図書館の建設と利用促進／市民スポーツの振興	

第七章 田辺のいま……………八八五

昭和五十年代の市政と市議会／田辺市財政の動向／生駒市政の誕生／第二次長期総合計画／芳養湾開発構想／平泉町と姉妹都市提携／非行克服のひろがり／紀南文化会館／天神崎の自然を守る／インフラ整備の促進／まちづくりの新しい展開

あとがき……………九二〇